

情報提供会を開催 若者にとって魅力ある産業に 中国5県コンクリート診断士会

中国5県のコンクリート診断士会の情報提供会

あいさつする瀬原会長



が6日、山口市のKDDI維新ホールで開催された。情報提供会では、各県の活動内容や取り組みなどの報告や最新トピックなどの情報提供を行った。

主催県の山口県コンクリート診断士会の瀬原洋一会長が「最近、ChatGPTが手放せなくなっている。まともな言葉が返ってくるなど、これらを使いながら上手に活用する時代になった。少子化の中、若い人たちにとって魅力ある産業にしなければならぬ。診

断士という魅力ある資格を取得してもらい、今後のインフラの維持管理で活躍してもらうための基盤を5県でつくればと思っている。各県のローカル的な問題を提起し、その問題解決の方法をみなさんの前で披露してもらいたい」と挨拶した。

また、相談役で山口県議会の高井智子議員は「インフラの安心安全を守るには、確かな知識と経験、広域的な連携が不可欠。本日は、中国5県の診断士が一堂に会し、最新の技術や課題を共有する貴重な機会。このような場を通じて、地域を越えた協力関係がより一層高まり、今後のインフラ維持管理の資質の向上につながることを期待する。行政と専門技術者の連携も時代の要請。議会を通じてみなさんの活動がより生かされる環境づくりに力を尽くす」と述べた。

岡山県の黒川健児氏(ウエスコ)は、昨年度の活動報告や最近設計したプレテンローラー桁の桁端部構造の背景や点検・診断・補修などについて情報提供した。黒川氏は「維持管理の確実性や容易さは、橋梁だけではなく全ての構造物に必要な性能。診断士の立場から、将来の品質劣化などに対応できる提案をした」と述べた。

このほか、広島県の勘田泰邦氏(シンワ技術)が「地下コンクリートの硫酸劣化」で、地下鉄や下水道などの硫酸劣化状況や劣化原因、補修方法などについて。島根県の中村裕大氏(島根県庁)は活動内容と島根県の老朽化対策の現状。鳥取県の但田拓志氏(美保テクノス)が自社で取り組んでいるICT活用工事や漫画でのPR活動についてそれぞれ報告した。



断士という魅力ある資格を取得してもらい、今後のインフラの維持管理で活躍してもらうための基盤を5県でつくればと思っている。各県のローカル的な問題を提起し、その問題解決の方法をみなさんの前で披露してもらいたい」と挨拶した。

また、相談役で山口県議会の高井智子議員は「インフラの安心安全を守るには、確かな知識と経験、広域的な連携が不可欠。本日は、中国5県の診断士が一堂に会し、最新の技術や課題を共有する貴重な機会。このような場を通じて、地域を越えた協力関係がより一層高まり、今後のインフラ維持管理の資質の向上につながることを期待する。行政と専門技術者の連携も時代の要請。議会を通じてみなさんの活動がより生かされる環境づくりに力を尽くす」と述べた。

岡山県の黒川健児氏(ウエスコ)は、昨年度の活動報告や最近設計したプレテンローラー桁の桁端部構造の背景や点検・診断・補修などについて情報提供した。黒川氏は「維持管理の確実性や容易さは、橋梁だけではなく全ての構造物に必要な性能。診断士の立場から、将来の品質劣化などに対応できる提案をした」と述べた。

このほか、広島県の勘田泰邦氏(シンワ技術)が「地下コンクリートの硫酸劣化」で、地下鉄や下水道などの硫酸劣化状況や劣化原因、補修方法などについて。島根県の中村裕大氏(島根県庁)は活動内容と島根県の老朽化対策の現状。鳥取県の但田拓志氏(美保テクノス)が自社で取り組んでいるICT活用工事や漫画でのPR活動についてそれぞれ報告した。